

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	改善策
確かな学力の定着	各教科において、基礎的、基本的な学習内容の定着を図るとともに、分かる・楽しい・考える授業を推進する。	国語科・算数科の基礎・基本の定着	国語科・算数科の授業の充実と朝学習と日々の学習の充実を図り、計算力・漢字力の向上を行う。 火曜日 漢字練習 水曜日 読書 木曜日 計算練習	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の共通理解、徹底指導を再確認する。(異動者、初任者への指導強化) ・授業单元ごとに振り返りを行い児童の理解定着を高める。 ・満点者を増やし学習意欲を高める。
		学習規律の徹底	かつしか学習スタイルを徹底し、学びのスタイルを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・かつしかっ子学習スタイルを授業始めに各担任が確認する。 ・月ごとに確認作業を入れ、児童に意識させていく。 ・到達率が低い学年をしっかりと取組ませていく。(特に初任者)
		指導方法の工夫・改善による授業力の向上	授業研究の(理科・音楽・図工)実施。一人1回以上と週指導計画への葛飾学び方スタンダードを必ず記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・週案提出は計画通りできているので期日を守らせる。 ・授業改善のため研究授業は全員が行う。 ・理科の研究に取り組み、わかる、楽しい授業を行う。
		家庭学習の習慣化	家庭学習の習慣化を図るための取組(家庭学習強化週間を年(5回設定)を行い、家庭学習の時間・定着をあげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題を行っているが、家庭での確実な学習はまだ少ない。また、やってこない児童が固定されているので、支援を行う必要がある。(家庭に協力を依頼) ・家庭学習週間は年間5回行い、家庭学習の時間を増加させいく。
豊かな心の育成	毎週1時間の道徳の指導の実施と人権尊重の教育の取り組みについて点検・評価を行う	道徳の学習の充実をし、規範意識を育てる	道徳地区公開講座の充実と道徳授業の公開を葛飾教育の日に2回以上設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳推進教師の研修会を設定し、授業改善、評価等を学び、新指導要領の内容を学んでいく。 ・自己肯定感とともに他人を思いやる行動の指導を道徳授業、生活指導で徹底して行う。 ・地域、保護者の協力を得る。
		人権課題を明確にし、人権感覚を磨く	豊かな人間関係の育成のために、自尊感情を高めるための、学級活動や特別活動に取り組む。(H・QUの改善点の向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・各担任が児童に学級での必要感や存在感、自信が持てるような取組を行い、満足感を高めていく。 ・学習状況調査等の結果から改善点を明らかにし、全教職員の共通理解のもと指導改善をしていく。(授業改善計画の作成をHPに示す)
健やかな体の育成	スポーツテストや健康診断により児童の体力、健康面の把握をし、それを生かした指導の展開をする	重点課題を明確にし、課題解決のための指導を行う	<p>自らのスポーツテストの課題を基にして、体育授業に意欲的に取組ませ、外遊びの励行とともに、体力向上を目指していく。</p> <p>自分の健康に関心を持ち、病気を予防しようとしたり、健康的な生活習慣を身に付けようとし、休まないで学校に登校する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投げる力、立幅とびも向上した。握力については鉄棒運動に力を入れていく。 ・弱い項目は、体育年間計画に入れ、取組んでいく。 ・測定方法等の研修を行う。
				<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいなどを徹底し、病気で休まないよう取り組んでいく。 ・個に応じた対応を確認する。休みがちな子には初期対応を行い、休まないよう働きかけていく。
良好な整備環境の	地域人材やボランティアの活用を積極的に推進し地域教育力を生かした取り組みを行う	地域人材や施設を活用し、体験活動等を通してよりよい教育環境作りに取り組む	地域人材や施設、外部人材を活用した活動を年間5回以上計画・実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は出前授業について満足しているが、興味等を持たせる工夫、目的をはっきりさせて取組むようにしていく。 ・学年に対応する内容を精選して、効果的な出前授業を行っていく。